

「地域のために尽力」功績が称えられ

◎旭日単光章受章

妻のチエさんと一緒に



2月17日、長年、日吉村議会議員として村行政の発展のために尽力された功績が認められ、このたび中川岩夫さん「父野川下」が旭日単光章を受章されました。

中川さんは昭和54年4月に日吉村議会議員に初当選。それ以後、4期16年間という長きにわたり在職し、地域のさらなる発展のために奮励してきました。

この日は、佐伯登志男南予地方局長が表彰状と勲章を贈呈。感無量といった面持ちでそれらを大切そうに受け取った中川さんは、周りで見守る家族と一緒にその喜びを分かち合っていました。

自分で作った味に大満足

◎メンズエプロン教室

参加者にアドバイスをする会員



2月14日、泉公民館調理室で「メンズエプロン教室」が行われ、町内の男性14人が参加しました。

この日は、鬼北町生活研究協議会（会長・井谷恵子）の会員らの指導を受けながら、鹿肉の佃煮や鹿力ツといった「ジビエ料理」を中心とした5品の料理に挑戦。参加者たちは、指導者に調理のコツを教わりながら、慣れない手つきで懸命に作り上げました。

また、この日はバレンタインデーだったため、会員たちはこっそりとチョコクランチを手作り。参加者たちは会員からの思いがけないプレゼントに、満面の笑みを浮かべていました。

魂のこもった熱演で観客を魅了

◎きほくの里人形劇

迫力のある人形劇「ももたろう」



全国各地の子どもたちに人形劇を行っている東京都の「劇団すぎのこ」による「きほくの里人形劇」は2月19日、近永公民館講堂で行われました。

今年披露された演目は、誰もが一度は目にしたことがあるであろう物語「ももたろう」。町内の親子連れなど大勢の人が観賞に訪れました。

劇団員の迫力あるセリフ回しと、まるで生きていくかのようには舞台上を縦横無尽に動き回る人形たちの姿に、子どもたちだけでなく保護者までもがその物語の世界に引き込まれ、真剣な眼差しで見入っていました。

鬼北の大自然を駆け抜ける

◎鬼の地獄道デュアスロン

颯爽と自転車をごく参加者たち



2月19日、日吉地区で「鬼の地獄道デュアスロンin Hiyooshi」が開催されました。

「デュアスロン」とは、ランニングと自転車ロードレースを組み合わせたスポーツのこと。今回のコースは、山道を約8km走った後、自転車道で国道320号線を約34km走行、そして最後に約3kmランニングするという、まさに「鬼の地獄道」。その過酷な道のりに、町内外から参加した45人が挑戦しました。

参加者たちは、時折苦しそうな表情をのぞかせていましたが、鬼北の自然を五感で感じながら、約45kmの地獄道を走破していました。